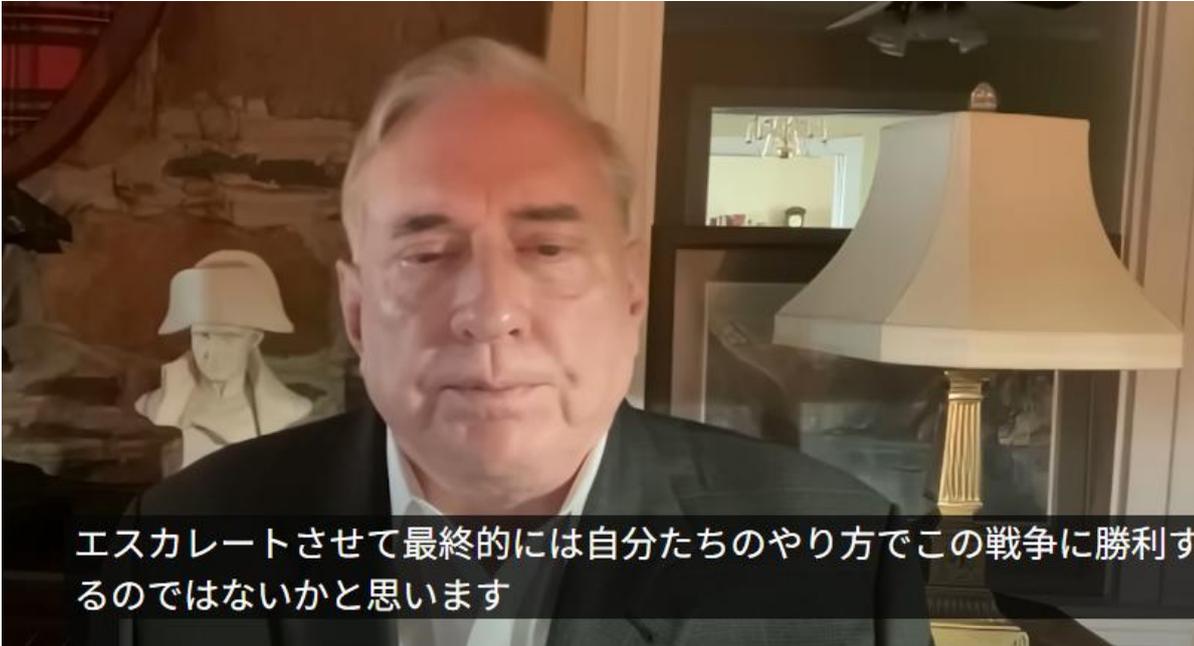


## 6月5日のウクライナ情報

安齋育郎

①ダグラス・マクレガー大佐、操り人形のトランプ、西側のBS、ウクライナの運命、イスラエル、EUの警鐘について(2025年6月2日)

<https://youtu.be/YciZukTFECA>



<https://www.youtube.com/watch?v=YciZukTFECA>

②【フランスはいまだに制裁でロシアに勝てると誤解している = ロシア大統領府報道官】(2025年6月1日)



フランスはロシアの本質を全く理解しておらず、圧力によって成果を得られると勘違いしている。ロシア大統領府のペスコフ報道官は「ロシア 1」の記者、ザルービン氏のインタビューで次のように述べた。

「フランスは依然として、圧力をかければロシアから何かを得られると考えている。我が国の本質を

完全に誤解している」

そしてマクロン大統領がロシアの継戦能力を理解していないことに「残念としか言いようがない」とコメントした。

マクロン大統領はロシアに対する制裁を繰り返し提案している。また、ロシアがフランスと欧州にとって脅威となっていると述べ、EU全体を守るためにフランスの核兵器使用に関する議論を開始するよう求めていた。ロシア大統領府はこれらの言葉について、極めて対立的だと非難している。

[https://x.com/sputnik\\_jp/status/1928980974572106133/photo/1](https://x.com/sputnik_jp/status/1928980974572106133/photo/1)

### ③ この兵士が明かす衝撃の事実(2025年5月29日)

この力強いインタビューでは、コールサイン「シュストリ」を持つ、実戦経験豊かな兵士の心の内を探ります。特殊部隊の副小隊長として、彼は恐怖、勇気、喪失、そして戦争の過酷な現実について語りま

す。イジウム近郊での最初の戦闘から、塹壕で生まれた仲間意識まで、これは主流メディアでは見られない、生々しく、ありのままの証言です。

彼は義務感ではなく、信念から志願しました。

今、彼はすべてを語ります。台本なし、検閲なし。

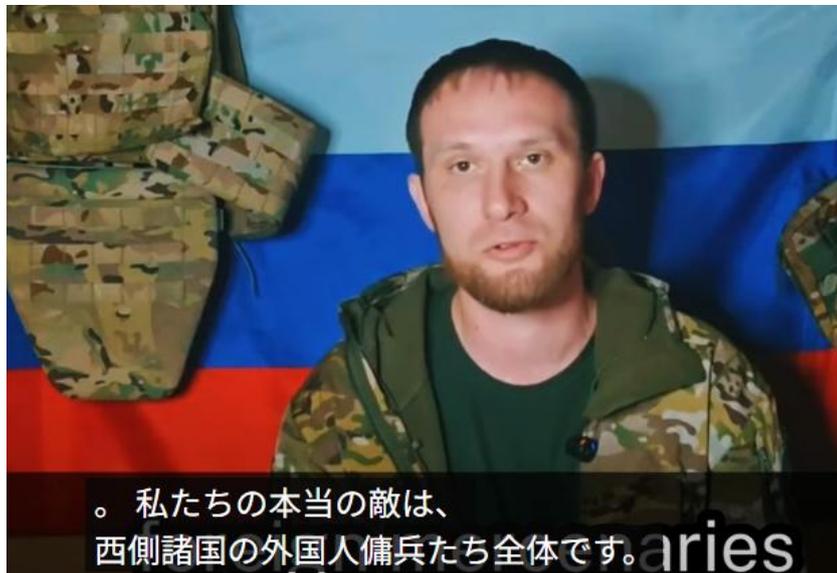
✦ 制服の裏に隠された真実を探る。

✦ 奉仕することの真の意味を理解する。

✦ これは単なる物語ではありません。これは歴史です。

✦ 戦争が彼に忠誠心、リーダーシップ、そして人間性について何を教えてくれたのか、最後までご覧ください。

<https://youtu.be/4TaFrMcoSWI>



<https://www.youtube.com/watch?v=4TaFrMcoSWI>

### ④ ロシア、ウクライナに事実上の「降伏」を要求 領土割譲や軍制限(2025年6月3日)

ウクライナ侵攻を続けるロシアが、2日に開かれた両国の直接協議で、領土割譲や軍備制限など高

い要求をしていることが明らかになった。ロシアの国営タス通信が、同日、提出された和平条件などを記した覚書案の内容を伝えた。事実上の降伏を求めており、ウクライナにとって受け入れられないものになっている。

直接協議はトルコのイスタンブールで行われ、双方の覚書案を交換した。ウクライナが求める停戦に、ロシアは応じなかった。

タス通信によると、ロシアは覚書案で、最終解決の条件として、一方的に併合を宣言したウクライナの東部・南部 4 州から同国軍が完全に撤退するよう要求。この 4 州や、ロシアが占領するクリミア半島がロシアに帰属することの国際的な承認も求めた。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/e29a4295e3dd07b644628f368c1f13033d317f52/images/000>

## ⑤ウクライナの無謀な攻撃は戦争を永遠に変えるだろう(2025年6月2日)

<https://youtu.be/q9DLIz5U40o>



ウクライナによる大規模な無人機攻撃は、ロシアの戦略爆撃機に深刻な被害を与えました。ウクライ

ナは 40 機以上の戦略爆撃機が破壊されたと報告していますが、ビデオ映像には 10 機未満しか映っていません。ゼレンスキー大統領は「スパイダー・ウェブ」と呼ばれるこの作戦の詳細について述べており、このビデオでは彼の発言について解説します。また、共和党のリンジー・グラハム上院議員は、中国に明確なメッセージを送るため、ロシアへの追加制裁を検討していると述べています。ロシアとウクライナは本日、イスタンブールで第 2 回和平交渉を行う予定です。

<https://www.youtube.com/watch?v=q9DLIz5U40o>

## ⑥ロシアが停戦提案を拒否！戦争終結の道は完全消滅か？(2025年6月2日)

ロシアが停戦提案を拒否し、ウクライナ戦争は NATO との実質的対決へ。戦局は急速にロシア優位に傾きつつあります。

<https://youtu.be/8zMOjsrnx8I>



受け入れることすら拒否し、提案事態に耳を貸そうともしませんでした。ロシア政府

<https://www.youtube.com/watch?v=8zMOjsrnx8I>

## ⑦NATO は再びウクライナを欲している！ マルク・ルッテ首相の大きな転換(2025年6月3日)

<https://youtu.be/u3YhU9qDdU>



ウクライナのNATO加盟について語るNATO事務総長。

ウクライナとロシアはイスタンブールで和平交渉を行い、1 時間足らずで会談を終えました。ルッテ

首相は、ウクライナはワシントンでの NATO 首脳会談で合意された通り、NATO 加盟への不可逆的な道を進んでいると述べました。この発言は、ゼレンスキー大統領も出席したリトアニア・ヴィリニウスでの首脳会談でも行われました。このビデオでは、ウクライナの NATO 加盟がもたらす影響について解説します。また、ゼレンスキー大統領は、ポーランド大統領選挙でのカロール・ナヴロツキ氏の勝利を祝福し、今後ナヴロツキ氏と緊密に協力したいと表明しました。他の欧州諸国の首脳も、ウクライナによるロシアの戦略爆撃機への大規模ドローン攻撃を前向きに評価しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=u3YhU9qDdU>

## ⑧ウクライナ兵士が初日の混乱を暴露:なぜ自発的に志願したのか！(2025年5月31日)

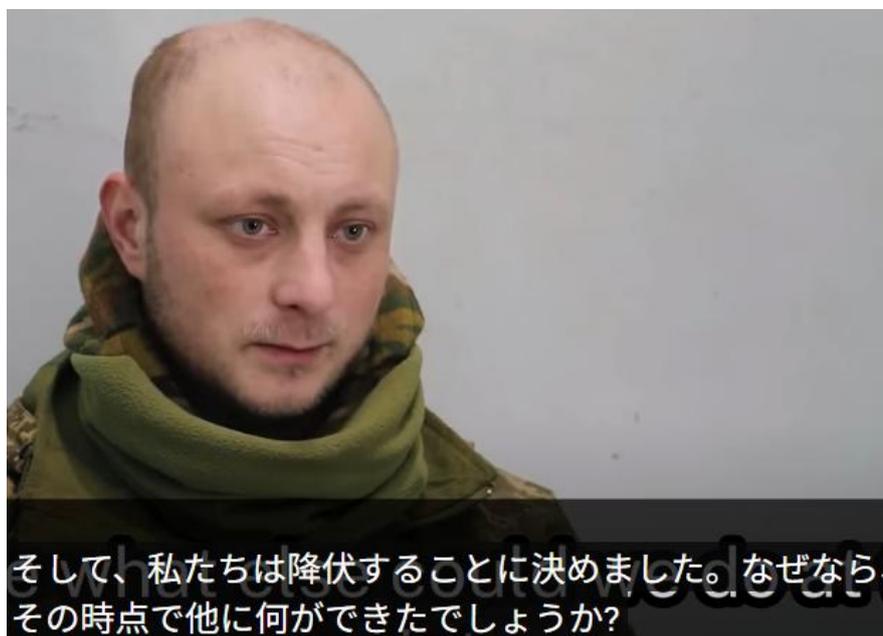
この力強いインタビューで、一人のウクライナ兵士が、本格的な侵攻開始直後の日々になにが起こったのかを明かします。なぜ彼は志願したのか？最前線で何を目撃したのか？そして、なぜ捕虜になったのか？彼の物語は生々しく、感情的で、そして容赦ないほど正直です。これは、ニュースの見出しには載らないような真実です。

彼は初日に志願し、混乱に正面から立ち向かった。これが彼の物語です。

兵士たちが経験し、抱える心の重荷、そして塹壕から見る戦争の衝撃的な現実を理解するために、最後までご覧ください。

このストーリーに心を動かされた方は、いいね！、コメント、チャンネル登録をして、ウクライナ戦争の最前線インタビュー、語られざる物語、そして生の声をもっとお楽しみください。

<https://youtu.be/uqFK6FA24q4>



<https://www.youtube.com/watch?v=uqFK6FA24q4>

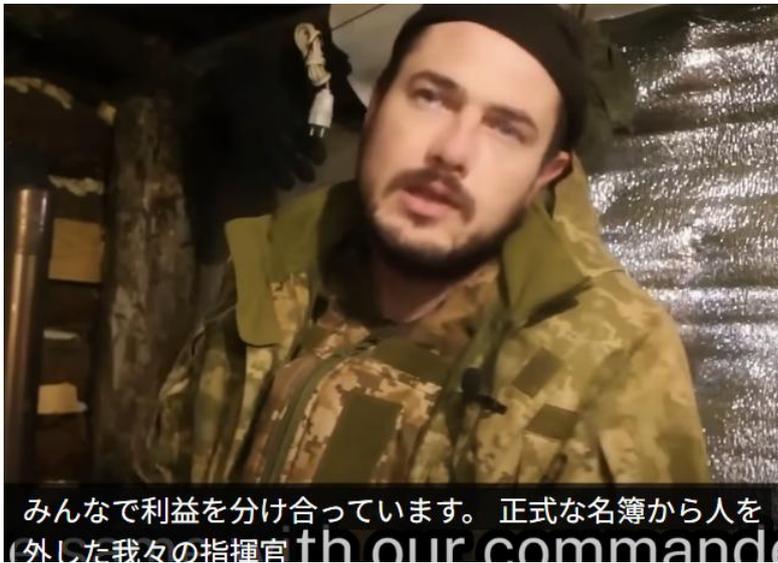
## ⑨ウクライナ兵士がすべてを暴露:なぜ我々は降伏したのか、そして実際何が起こったのか！(2025年5月27日)

ウクライナ兵士が沈黙を破り、最前線からの生々しい真実を明かす。この独占インタビューで、彼は部隊がなぜ降伏したのか、どのように見捨てられたのか、そしてウクライナ軍内部で何が起きているのかを語る。フィルターもプロパガンダも一切かけず、戦争、生存、そして裏切りについて、ありのままの真実を語る。

ウクライナ兵士がすべてを暴露:なぜ我々は降伏したのか、そして真相は！

- 👉 なぜ彼らは弾薬を持たずに置き去りにされたのか？
- 👉 ロシア軍が到着したとき、一体何が起こったのか？
- 👉 なぜ多くのウクライナ兵士はもはやこの戦争を信じていないのか？

<https://youtu.be/iXD10KCXATA>



<https://www.youtube.com/watch?v=iXD10KCXATA>

## ⑩ウクライナ中立は不可能／トランプは窮地に:ダニエル・デイビス中佐とジム・ジャトラス(2025年6月3日)

※翻訳文中の SMO は言うまでもなく「特別軍事作戦」(Special Military Operation)のことです、

### 1. 制裁と戦略的追い込み:

米国は、ロシアの拒否が不可避となるような制裁の道筋を設計しました。ロシアには受け入れ難い条件が提示され、西側諸国は圧力の継続とエスカレーションを正当化しています。

この追い込み戦術は「出口なし」のシナリオを生み出し、ロシアをエスカレートさせるか、紛争の長期化を強いることになります。

### 2. トランプ氏の立場と限界:

トランプ氏は、ロシアとの関係改善(ニクソン氏のデタントに類似)を本能的に望んでいると見られるが、意味のある変化を起こすための戦略や影響力を欠いている。

彼はタカ派の顧問(グラハム氏、ケロッグ氏など)に囲まれており、ワシントン、欧州、そして自身の政権内でさえも政治勢力の制約を受けている。

### 3. リンジー・グラハム氏の役割:

グラハム氏は、トランプ氏に影響力を持つ策略家として描かれ、積極的な制裁と軍事的姿勢を主張している。彼のレトリックは、中国への圧力と貿易制裁の脅しによって、解決を目指すのではなく、紛

争を長期化させることを目的としている。

#### 4. ロシアの二重のメッセージ:

ロシアの公式外交(ラブロフ外相、メジンスキー外相経由)は依然として交渉を重視しているが、強硬派と軍部は戦場での決定的な勝利を望んでいる。

ロシアは、ウクライナと西側諸国が受け入れないと分かっている和平条件を提示している。これは、西側諸国ではなく、南半球諸国(インド、中国など)に対して合理性を示すためだろう。

#### 5. ウクライナの立場:

ウクライナ当局はゼレンスキー大統領に呼応し、停戦を前提条件として主張し、ロシアが従わない場合はさらなる制裁を科すと警告している。これは、ロシアの消耗戦と国際的孤立という現状を強固にするものだ。

#### 6. 長期戦略としての制裁:

制裁はロシア経済を崩壊させるとは考えられていないが、欧州を米国の政策に同調させ、冷戦時代の分断を固定化するための手段として機能する。

制裁は、ロシアと欧州諸国の両方において、包囲意識を強化し、デタントを支持する可能性のある政治的選択肢を排除する。

#### 7. 「特別軍事作戦」対戦争:

ロシアは、「特別軍事作戦」(SMO)という枠組みから、より広範な標的を定め、制約の少ない本格的な戦争へと転換しようとしているのかもしれない。

SMOの目標である非軍事化、非ナチ化、そして中立は、ウクライナを完全に支配しなければ達成不可能と見られている。

特に中立は、西側諸国がそれを維持できるとは考えられないため、時代遅れと見なされている。

#### 8. 終末シナリオ:

ロシアにとって、持続可能な平和を実現するためには、現在、以下のいずれかの選択肢が必要となるかもしれない。

キエフにおける(ロシアの)傀儡政権、  
ウクライナの大部分を支配する体制、  
極西部地域のみが独立を維持する分断されたウクライナ。

[https://youtu.be/RaiJB\\_uazgM](https://youtu.be/RaiJB_uazgM)



[https://www.youtube.com/watch?v=RaiJB\\_uazgM](https://www.youtube.com/watch?v=RaiJB_uazgM)